



会場：AP横浜駅西口

横浜市西区北幸2-6-1 横浜APビル4階
 (※ビル1階はスターバックスコーヒーです)
 TEL 045-411-5109 (代表)

★交通アクセス★

JR東海道線・JR京浜東北線・JR横須賀・総武線「横浜」駅西口徒歩6分
 横浜市営地下鉄「横浜」駅徒歩約3分・東急東横線・みなとみらい線「横浜」駅徒歩約6分,
 相模鉄道線「横浜」駅徒歩約5分, 京浜急行線「横浜」駅徒歩約6分

学会員の方は参加費無料です。受付けをお済ませの上、ご参加ください。
 非会員の方は、学会参加費(1000円)を受付けの際にお支払いください。

本学会は日本医師会生涯教育講座認定学会です。

ご希望の方には受付にて、参加証をお渡し致しますのでお申し出下さい。

本学会では、精神科専門医制度の単位は取得できません。予めご了承くださいますようお願いいたします。

演題発表用の資料は、Microsoft PowerPointで作成したファイルのみ、お受けいたします。

電子ファイルは一般演題1 演者の方は13:00, 一般演題2 演者の方は 14:30に受付へお持ちください。

演題発表時にはCOI(conflict of interest)について、開示をお願い致します。

当日の発表用スライドに、下記URLの基準(日本精神神経学会のHP)をご参照の上、
 明示をお願い致します。

【 https://www.jspn.or.jp/modules/about/index.php?content_id=22 】

併せて当日までに神奈川県精神医学会誌掲載用の抄録(800字以内)を電子ファイルでご提出ください。

【 提出先E-mailアドレス : kanasei@yokohama-cu.ac.jp 】

一般演題はプレゼンテーション 8分、質疑 2分です(時間厳守)。

学会に関するお問い合わせは、

会場ではなく、神奈川県精神医学会事務局までお願いします。

事務局：横浜市立大学医学部精神医学教室

電話：045-787-2667 FAX：045-783-2540

担当：浅見

神奈川県精神医学会

第169回例会

2018年2月24日（土）

13時30分—

会場：AP横浜駅西口



学会事務局：横浜市立大学医学部精神医学教室内

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

神奈川県精神医学会例会

一般演題1(13時30分-)

座長：内門大丈（湘南いなほクリニック）

1. 治療に苦慮したNPSLE2症例の入院治療

松島 健, 石井美緒, 安藤 豪, 隈本朝喜, 加藤みゆ, 平安良雄

横浜市立大学医学部精神医学教室

2. ベンゾジアゼピン系薬剤使用障害を呈した側頭葉てんかんの一例

恩田優子, 吉田晴久, 野地 貴, 田村 元, 白石洋子, 青木直哉, 平安良雄

横浜市立大学医学部精神医学教室

3. 特発性てんかんを合併する難治性うつ病患者に対し修正型電気痙攣療法が有効であった一例

野地 貴, 青木直哉, 田村 元, 恩田優子, 吉田晴久, 平安良雄

横浜市立大学医学部精神医学教室

4. 当院における睡眠薬の使用状況と院内転倒リスクの検討

田村 元¹⁾, 安藤 豪¹⁾, 吉田晴久¹⁾, 渡邊香織²⁾, 森 直樹³⁾, 平安良雄¹⁾

1) 横浜市立大学医学部精神医学教室

2) 横浜市立大学附属病院看護部

3) 横浜市立大学附属病院薬剤部

5. カフェイン過量内服によりてんかん発作が誘発された一例

鈴木洋久, 野崎伸次, 沖野和磨, 花輪洋一, 星野靖二, 白井将博, 荏部宗応, 葉梨喬広,

小金丸泰史, 大内宏美, 南 壮介, 幾瀬大介, 菊池 優, 富岡 大, 黒沢顕三, 稲本淳子

昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

6. 横浜舞岡病院急性期治療病棟における心理教育の実践

加瀬昭彦

横浜舞岡病院

一般演題2(15時00分-)

座長：藤田純一 (横浜市立大学医学部精神医学教室, 横浜市立大学附属病院 児童精神科)

7. レビー小体関連疾患の精神病症状に修正型電気けいれん療法が有効であった4症例の検討

面川 育¹⁾, 内村 放¹⁾, 本山 博¹⁾, 辻村理司¹⁾, 六本木知秀¹⁾, 野本宗孝¹⁾, 高橋雄一¹⁾, 平安良雄²⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

2) 横浜市立大学医学部精神医学教室

8. 当院における周産期患者の精神疾患合併例についての現状

永露 賀¹⁾, 井上佳祐¹⁾, 松森響子¹⁾, 濑本みさと¹⁾, 六本木知秀¹⁾, 野本宗孝¹⁾, 高橋雄一¹⁾, 平安良雄²⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

2) 横浜市立大学医学部精神医学教室

9. リエゾンチームにおいてリカバリー志向の短期精神療法を試みた1例

～“WRAP”と“IMRのリカバリーゴール作り”を用いて

渡辺厚彦¹⁾, 野本宗孝²⁾, 遠藤恵美³⁾, 高橋雄一²⁾, 平安良雄⁴⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床心理室

2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

3) 横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部

4) 横浜市立大学医学部精神医学教室

10. リワークにおけるパフォーマンス改善効果

油谷元規, 戸金朋美, 増田 郁, 眞柄正隆, 堤 康彦

けやきの森病院

11. 相模原市における「アルコール・薬物家族教室」の取り組みについて

平松さやか, 新井紘太郎, 水野 奏, 落合万智子, 宍倉久里江

相模原市精神保健福祉センター

12. 臨床コラージュ技法に及ぼす素材の影響

片野杏南, 石井雄吉

明星大学心理学部

13. 重度慢性精神病の精神病理学 一チームを離れて側面援助した2例を通じて一

岩井一正, 林田治美, 伊藤恵理子

神奈川県立精神医療センター